

DEH-110

CD/チューナープレーヤー

取扱説明書

目次 4ページ

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

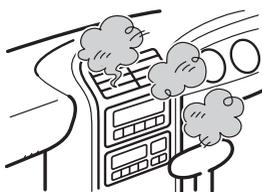
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

はじめに

はじめに

- 1 各部のなまえ 5

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 基本的な操作 6
- 電源オン・オフ
 - ソース切り換え
 - 音量調節
- 2 内蔵CDのふだんの操作 7
- CDを再生する
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
 - CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 8
- バンドを選ぶ
 - 選局

内蔵CD

内蔵CDでCDを聞く

- 1 繰り返し再生する 9
- 2 違う曲順で再生する 9
- 3 曲をさがす 9
- 4 再生を一時停止する 9

ラジオ

ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に登録する 10
- 2 放送局を1局ずつ登録する 10
- 3 登録した放送局を呼び出す 11

音の調節

音を調節する

- 1 イコライザーカーブを選ぶ 12
- 2 オーディオメニューの切り換えかた 12
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 13
- 4 イコライザーカーブを調節する 14
- 5 小さな音量でも聞きやすくする 15
- 6 各ソースの音量を揃える 15

便利な機能

便利な機能

- 1 交通情報を受信する 16
- 2 時計を合わせる 16
- 3 時計を表示する 17

準備

取り付けの準備

- 1 接続・取り付け部品を確認する 18
- 2 取り付けの前に知ってほしいこと 18
- 取り付け上のご注意
- 3 接続の前に知ってほしいこと 19
- 接続上のご注意
 - バッテリー交換時のご注意

接続・取付
動作確認

接続・取り付けと動作確認

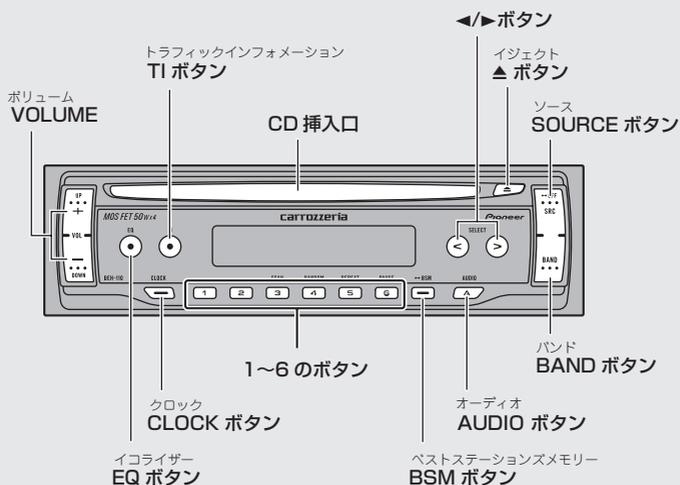
- 1 接続する 20
- 2 本体を取り付ける 22
- 3 動作を確認する 23

付録

付録

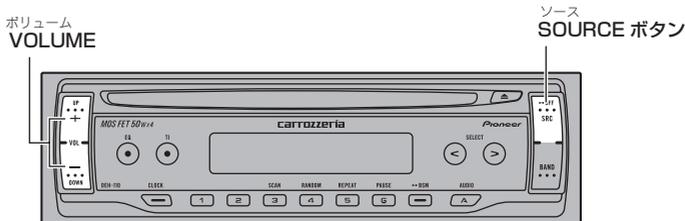
- 1 CDの正しい使いかた 24
- 使用できるCDについて
 - 取り扱い上のご注意
 - 保管上のご注意
 - お手入れについて
 - CD再生の環境について
- 2 故障かな？と思ったら 26
- 3 こんなメッセージが表示されたら 28
- 4 保証書とアフターサービス 29
- 5 おもな仕様 30

本体



ここだけで 1 基本的な操作

電源オン・オフ/ソース切り換え/音量調節

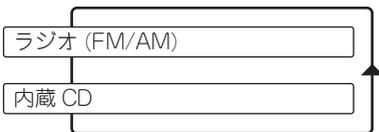


1 電源をONにする

 (SOURCE) ボタンを押す
本機の電源がONになります。

2 ソースを切り換える

 (SOURCE) ボタンを押す
 ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



3 音量を調節する

 (VOLUME) を押す

 を押す：大きくするとき

 を押す：小さくするとき

- 音量は、0～30の範囲で調節できます。
- 約4秒間、音量が表示されます。

4 電源を切る

 (SOURCE) ボタンを
1秒以上押す
本機の電源が切れます。

メモ

- CDをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。
- CDがセットされていないときは、内蔵CDには切り換わりません。
- 本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- CDをセットしたまま電源をOFFにすることもできません。
- 電源がOFFのときでも、EJECTボタンを押してCDを取り出すことができます。
- 時計を表示させている場合、電源をOFFにしても時計は表示されます。

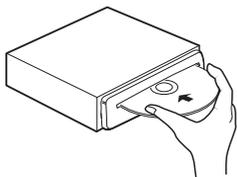
画面表示例



よく使えます
いっだけ読めます

1 CDを挿入口に差し込む

CDの再生が始まります



注意

- CDシングル（8cm CD）もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- CDをセットしたままラジオに切り換えたり、電源をOFFにしたりできます。
- CD挿入口には、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります

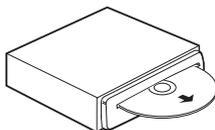
3 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

再生が終わります

4

(EJECT) ボタンを押す

CDが出てきます



注意

- 出てきたCDはすぐに取り出して保管してください。CD挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- EJECTボタンを押してCD再生をやめたときは、自動的に電源OFFになります。

2 ◀ または ▶ ボタンを押す

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：▶を押す
前の曲を選ぶ：◀を押す

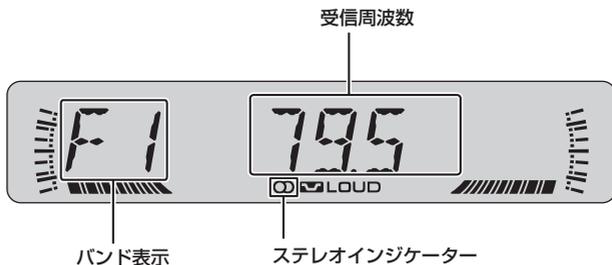
■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：▶を長く押す
早戻し：◀を長く押す

3 ここだけで ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ/選局

画面表示例



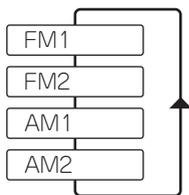
1 (SOURCE) ボタンを押す

ソースがラジオになるまで押します

2 (BAND) ボタンを押す

ボタンを押すごとに、バンドが切り換わります

切り換わる順番は次のとおりです。



知っている则便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行などで、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に登録した放送局はそのまま使用できるので便利です。

3 ◀ または ▶ ボタンを押す

放送局が選べます

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

- 高い周波数の放送局を選ぶ：▶を短く押す
- 低い周波数の放送局を選ぶ：◀を短く押す

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

- 高い周波数の放送局を自動で選ぶ
：▶を長く押し離す
- 低い周波数の放送局を自動で選ぶ
：◀を長く押し離す

✎ 知っている则便利

- 0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

ラジオの受信が終わります

内蔵CD

1

繰り返して再生する

リピート

今聞いている曲を繰り返して再生します。

1

⑤ (5) ボタンを押して、
リピート再生をONにする

今聞いている曲を繰り返して再生します



もう一度 ⑤ (5) ボタンを押すと、
リピート再生がOFFになります

内蔵CD

2

違う曲順で再生する

ランダム

曲を順不同 (ランダム) に再生できます。
いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに
便利です。

1

④ (4) ボタンを押して、
ランダム再生をONにする

次の曲からランダムに再生します



もう一度 ④ (4) ボタンを押すと、
ランダム再生がOFFになります

内蔵CD

3

曲をさがす

スキャン

曲の初めの部分だけを、約10秒ずつ再生でき
ます。聞きたい曲をさがすときに便利です

1

③ (3) ボタンを押して、
スキャン再生をONにする

曲の先頭部分を約10秒間ずつ再生し
ます



聞きたい曲が再生されたら、 ③ (3)
ボタンを押すと、スキャン再生がOFF
になります

内蔵CD

4

再生を一時停止する

ポーズ

CDの再生を一時停止できます。

1

⑥ (6) ボタンを押して、
CD再生を一時停止する

CD再生を一時停止します



もう一度 ⑥ (6) ボタンを押すと、
再生が始まります

ラジオ
1複数の放送局を
自動的に登録する

BSM

BSMとは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。受信状態の良い放送局を探して、1~6のボタンに自動的に登録する機能です。

1

 (BAND) ボタンを押す

登録するバンドを選びます

(☞ ここだけで⑧ 8ページ)

2

 (BSM) ボタンを
2秒以上押す

BSMが開始されます



登録動作中に「BSM」が点滅します。登録が完了すると「BSM」の点滅が終わり、1のボタンに登録した放送局を受信します。

登録動作中に(BSM)ボタンを押すと、BSMが途中解除されます。



メモ

- 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。
- 登録された放送局は、プリセットチューニングで呼び出します。

ラジオ
2放送局を1局ずつ
登録する

プリセットメモリー

1~6のボタンに、お好みの放送局を1局ずつ手動で登録できます。

1

 (BAND) ボタンを押す

登録するバンドを選びます

(☞ ここだけで⑧ 8ページ)

2

 または  ボタンを押す

登録させたい放送局を選びます

3

 (1) ~  (6) ボタン
の1つを2秒以上押す

放送局を登録します



登録動作中に押したボタンの番号(登録番号)が点滅します。登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局を受信します。



メモ

- 登録された放送局は、プリセットチューニングで呼び出します。

登録した放送局を 呼び出す

プリセットチューニング

プリセットメモリーやBSMで登録した内容は、簡単に呼び出すことができます。

1 (BAND) ボタンを 押す

登録したバンドを選びます
( ここだけで⑧ 8ページ)

2 (1) ~ (6) ボタン の1つを押す

登録した放送局を直接呼び出します



音の調節

1

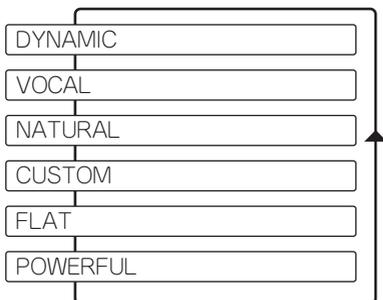
イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、好みの音質にできます。

1

⊙ (EQ) ボタンを押す

⊙ (EQ) ボタンを押すごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります



メモ

- CUSTOMには、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが登録されます。
- “FLAT” カーブでは、イコライザーによる音の補正は行いません。イコライザーの効果を確認するときに使用すると便利です。

音の調節

2

オーディオメニューの切り換えかた

「音量バランス調整」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオ調整メニューで操作します。

1

△ (AUDIO) ボタンを押す

△ (AUDIO) ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります



メモ

- ソースがFMの場合、SLA (ソースレベルアジャスター) には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BANDボタンを押します。また、約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダーバランス

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 (AUDIO) ボタンを押す

音量バランス調節メニューが表示されます



2 (+) または (-) ボタンを押す

前後の音量バランス (FAD) を調節できます

前を強めるとき : (+) を押す

後ろを強めるとき : (-) を押す

前後のバランスは、F15~R15の範囲で調節できます。

3 (<) または (>) ボタンを押す

左右の音量バランス (BAL) を調節できます

右を強めるとき : (>) を押す

左を強めるとき : (<) を押す

左右のバランスは、L9~R9の範囲で調節できます。

4 (BAND) ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節

4

イコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに簡単な補正を加えることができます。これにより、よりお好みにあった音質を作り出すことができます。

設定したイコライザーカーブは、自動的に“CUSTOM”カーブに登録されます。

バス/ミッド/トレブル

5

A (AUDIO) ボタンを押す

高音域調節メニューが表示されます



1

A (AUDIO) ボタンを押す

低音域調節メニューが表示されます



2

(+) または (-) ボタンを押す

低音域のレベル (BASS) を調節できます

レベルを大きくするとき : (+) を押す

レベルを小さくするとき : (-) を押す

レベルは+6~-6の範囲で調節できます。

6

(+) または (-) ボタンを押す

高音域のレベル (TREBLE) を調節できます

レベルを大きくするとき : (+) を押す

レベルを小さくするとき : (-) を押す

レベルは+6~-6の範囲で調節できます。

7

BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

3

A (AUDIO) ボタンを押す

中音域調節メニューが表示されます



4

(+) または (-) ボタンを押す

中音域のレベル (MID) を調節できます

レベルを大きくするとき : (+) を押す

レベルを小さくするとき : (-) を押す

レベルは+6~-6の範囲で調節できます。

小さな音量でも聞きやすくする

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音域の不足感を補正して、聞きやすい音にします。通常の音量で使用すると、低音域と高音域が強調された、より迫力のある音で音楽を楽しむことができます。

1 (AUDIO) ボタンを押す

ラウドネスメニューが表示されます



2 (+) ボタンを押す

ラウドネス (LOUD) がONになります

(-) ボタンを押すと、OFFになります。

3 < または > ボタンを押す

ラウドネスの効果を選びます

効果を大きくするとき (HI) : (+) を押す

効果を小さくするとき (LOW) : (-) を押す

4 (BAND) ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

各ソースの音量を揃える

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量に違いが出てることがあります。ソースレベルアジャスター (SLA) は、FMの音量を基準として、各ソースの音量の違いを揃える機能です。



SLAについて

- SLAは、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。SLAは、FMの音量を基準に、他のソースの音量を調節します。このため、FMを聞いているときはSLAには切り換わりません。AM、CDのそれぞれの音量差を調節できます。

1 (AUDIO) ボタンを押す

SLA調節メニューが表示されます



2 (+) または (-) ボタンを押す

レベルを調節できます

レベルを大きくするとき : (+) を押す

レベルを小さくするとき : (-) を押す

レベルは+4~-4の範囲で調節できます。

3 (BAND) ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

便利な機能

1

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送している交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。AM 1 620 kHzとAM 1 629 kHzの切り換えも簡単に行うことができます。この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できますので、情報を逃さず受信できます。

1

⊙ (TI) ボタンを押す

AM 1 620 kHzの交通情報を
受信します



2

◀ または ▶ ボタンを押す

交通情報の周波数を切り換えます

1 620 kHzを選ぶとき : ◀ を押す

1 629 kHzを選ぶとき : ▶ を押す

3

⊙ (TI) ボタンを押す

交通情報の受信を解除します

交通情報を受信する前の状態に戻ります。



メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。
- 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめると、イコライザーカーブはもとの状態に戻ります。ただし、交通情報受信中にイコライザーカーブを変更した場合は、変更後の設定になります。(もとの状態には戻りません。)

便利な機能

2

時計を合わせる

時計調整

本機のディスプレイに時計を表示するために、時計を合わせておきます。

1

☑ (SOURCE) ボタンを押す

電源をOFFにします

2

▲ (AUDIO) ボタンを
2秒以上押す

時計調整モードが表示されます



3

◀ または ▶ ボタンを押す

時または分を選びます

押すごとに、時と分が切り換わります。

4

☑ (+) または ☒ (-)
ボタンを押す

時刻を合わせます

時刻を進めるとき : ☑ を押す

時刻を戻すとき : ☒ を押す

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



5

☑ (BAND) ボタンを押す

時計調節モードが解除され、
電源がOFFになります

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに、時計を表示できます。時計は、本機の電源がONのときもOFFのときも表示させることができます。



時計表示について

- 本機に時計を表示させる前に、時計を合わせる必要があります。「時計を合わせる」を参照して、時計を合わせてください。

1

(CLOCK) ボタンを押す

時計が表示されます

もう一度  (CLOCK) ボタンを押すと、時計表示が解除されます。



メモ

- 本機の電源がONのときは、時計表示中に他の操作をすると、時計表示は一度解除されます。この場合、25秒後に時計表示に戻ります。

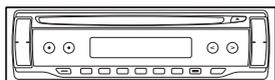
車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

※別売部品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

準備
1

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



トラスネジ (5 × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 × 9 mm) × 4

コード関係



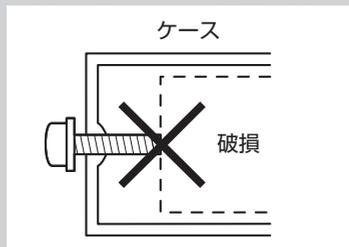
電源コード × 1

準備
2

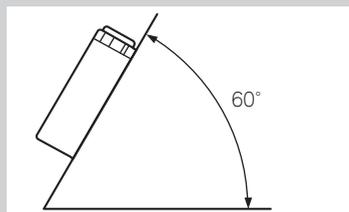
取り付けの前に 知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

バッテリー交換時のご注意

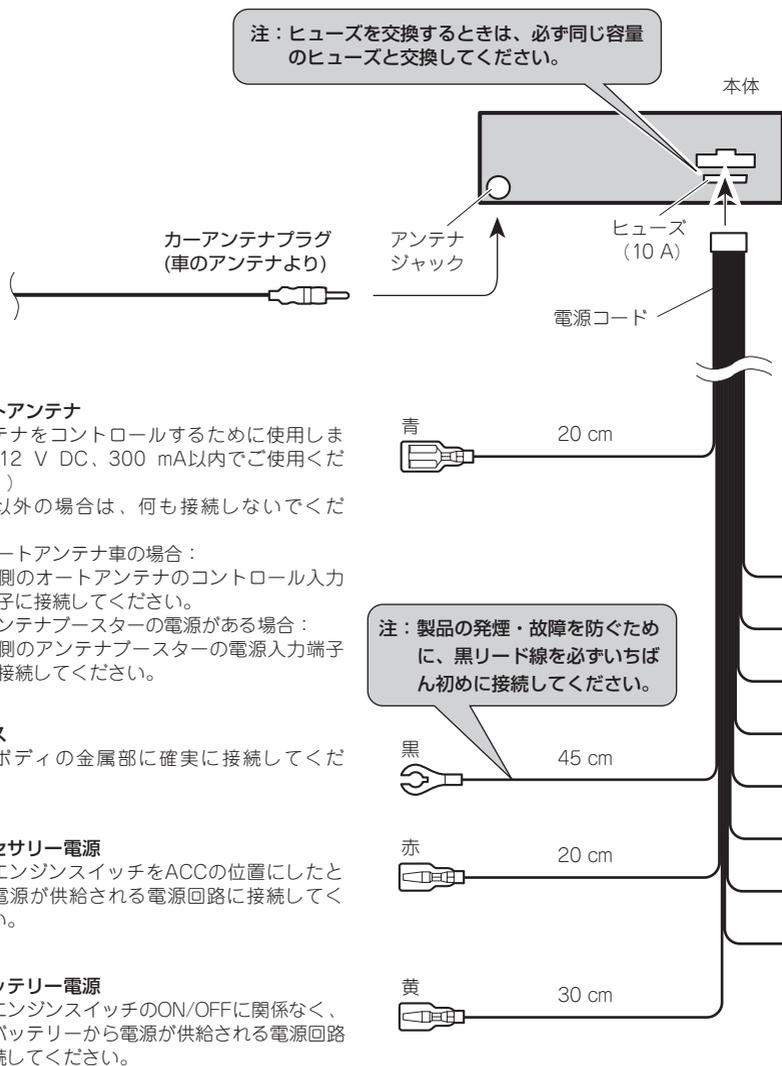
車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。

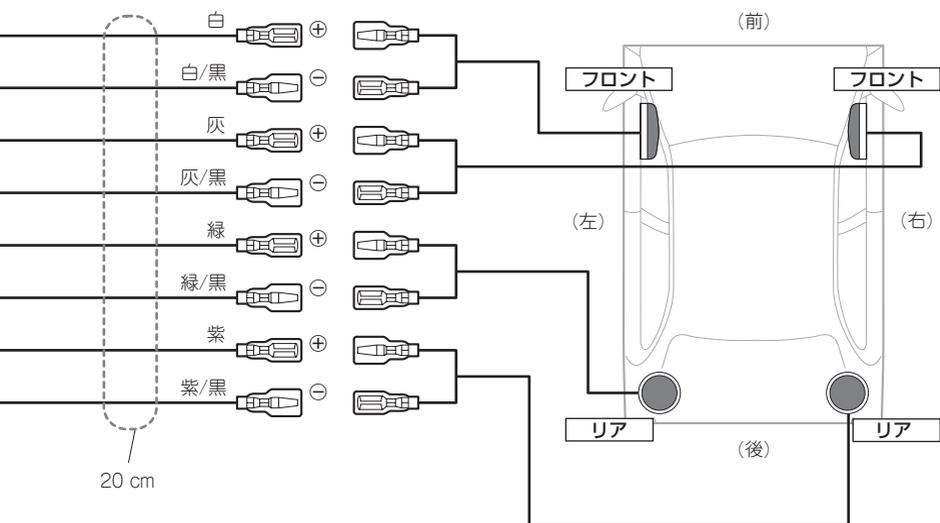
ラジオのプリセットメモリーは10ページ、時計調整は16ページを参照して、再設定してください。

オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

接続する

—— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください ——





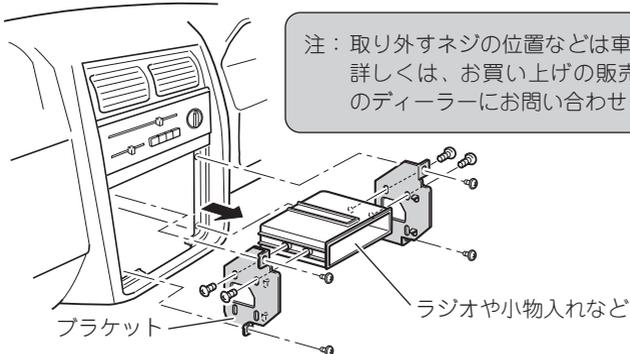
注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



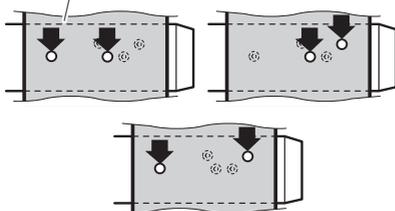
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



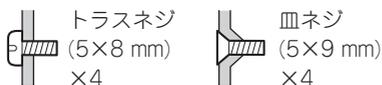
■日産車の場合

日産車ブラケット



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。

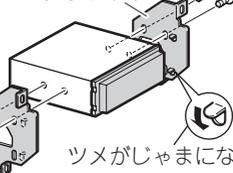


トラスネジ
(5×8 mm)
×4

皿ネジ
(5×9 mm)
×4

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

ブラケット



ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見えて確認してください。

2 車のエンジンをかける



3 本機の動作を確認する

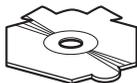
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



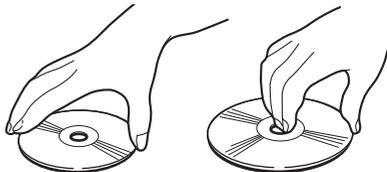
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CDに収録された曲数は、99曲まで再生可能です。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

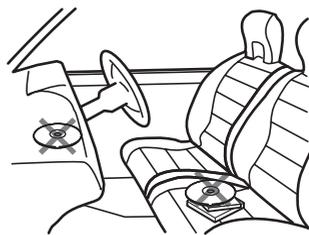


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けないでください。



保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかいきれいな布でふいてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

それでも
直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」をお読みになり、修
理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう 一度確認してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒュー ズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで ① 6ページ)
	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節 ③ 13ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節 ③ 13ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節 ③ 13ページ)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (※ ここだけで ⑧ 8ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (※ ここだけで ⑧ 8ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (※ ここだけで ⑧ 8ページ)

CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	CDを交換してください。 良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (※ その他 ① 25ページ)
	CDに曇りや汚れがついている。	CDの曇りや汚れをふき取ってください。 (※ その他 ① 25ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	EJECTボタンを押すと、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「CD-ROM」	CD-ROMディスクを挿入したとき。	本機は、CD-ROMの再生には対応していません。CDを交換してください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10.0 A

外形寸法：

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170(W) × 46 (H) × 15 (D) mm

質量：

1.3 kg (コード含まず)

■ アンプ/オーディオ部

最大出力：

50W × 4

定格出力：

22W × 4

(50~15 000 Hz、5 % THD)

負荷インピーダンス：

4 Ω (4~8 Ω 使用可能)

バス/トレブル：

(バス)

周波数：100 Hz

ゲイン：±13 dB

(ミッド)

周波数：1 kHz

ゲイン：±12 dB

(トレブル)：

周波数：10 kHz

ゲイン：±12 dB

ラウドネスコンター：

(LOW)：

7 dB (100 Hz)

4 dB (10 kHz)

(HIGH)：

10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

(ボリューム：-30 dB)

■ CDプレーヤー部

形式：

コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク：

コンパクトディスク

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

44.1 kHz

量子化ビット数：

16ビット直線

周波数特性：

5~20 000 Hz (±1 dB)

S/N比：

94 dB (1 kHz)

(IHF-Aネットワーク)

ダイナミックレンジ：

92 dB (1 kHz)

チャンネル数：

2 (ステレオ)

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.1~89.9 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、
モノラル、S/N：30 dB)

50 dB感度：

10 dBf (0.9 μ V/75 Ω 、モノラル)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30~15 000 Hz (\pm 3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522~1 629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μ V (S/N：20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット	：1
取付ネジ類	：1式
取扱説明書	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
 なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>
 （商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

☎ **0070-800-8181-11**

☎ 【一般電話】 **03-5496-8016**

●ファックス受付 ☎ **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095**

☎ 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028**

☎ 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 ☎ **098-879-1910**

ファックス ☎ **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

©パイオニア株式会社 2005

< KSNZX > < 05G00000 > < CRA3779-A/N >